

100 世界遺産の旅 (90)

アドリア海の真珠

アドリア海の真珠と云われるドブロブニクは、世界遺産の中でも探訪するに難しい都市の1つであった。それは、地理的な条件もさることながら、長らく続いたユーゴスラビア内戦に起因していた。ドブロブニク1都市だけなら、ローマよりLCC利用(往復8,522円)で1泊2日の旅で充分だろう。



ドブロブニク旧市街、クロアチア、2019年5月

昼12時に、ドブロブニク空港に到着したが、生憎の雨だった。30分ほどバスに揺られ、旧市街の入口、ピレー門で下車し、スーツケースを転がしながら宿へ向った。旧市街は車もなく、多くの観光客が散策を楽しんでいた。ドブロブニクは、中近東から欧州へ海上輸送される物資の商いで富を成したが、覇権をベネチア等と争う内に、海洋都市として発展した。412mのスルジ山で背後を固め、周りには城壁で囲まれた要塞都市である。スルジ山へロープウェイで上れるが、税務署よりの業務命令で20日間の営業停止になっていた。恐らく脱税容疑だろう。



ドブロブニク城壁巡り、クロアチア、2019年5月

ドブロブニクの最大の呼び物は、城壁巡りである。一人3400円と高額であるが、1時間30分ほど空中散歩を楽しむことが出来た。2カ所在る門

を閉めれば、完全に外部より隔離されて要塞となる。城内には全く駐車場はなく、朝一番に外部から食料や資材を運搬していた。朝、小学生が登校していたので、城内に小学校はあるようだ。



ドブロブニク港、クロアチア、2019年5月

さて、ホテルと云えば、旧市街には皆無である。歴史的要塞都市であるが故、ホテルを建てる余地が、全く無かったのだろう。宿泊施設は、アパートで、マネジメント会社が、一手に借り上げて、部屋貸ししていた。よって、フロントは無く、マネジメント会社より、部屋と入り口の鍵をもらって、案内してもらおうシステムだった。1建屋に4部屋ほどで、合計約60部屋を管理していると聞いた。



ドブロブニク裏通り、クロアチア、2019年5月

アパートの部屋貸しと云うことで、バスタオルも5日毎の取り替えであった。我々は5日毎の取り替えを事前に知らされていなかったので、クレームを入れると、新しいバスタオルをサービスしてくれた。部屋の内装と云えば、それは素晴らしく、家人の見立てによると女性プロのコーディネーターによって施されたようだった。部屋の内装は、コピーされないようにホームページには掲載されず、9.2/10の高評価を売りとして集客しているようだった。

ドブロブニクでは、新市街のホテルではなく、旧市街のアパートメント宿泊を強くお勧めしたい。人通りが少なくなる夕方、現地のレストランで、美味しいシーフードを賞味するのもグッドアイデアだ。